

卒業までに修得すべき要件

斜体：選択科目

知識・理解

- ・理学療法士としての専門的知識、実践力を身に付けています
- ・国際化に対応した知識、視点を身に付けています

思考・判断

- ・患者に必要な情報収集ができる
- ・状況に応じて適切に判断ができる

関心・意欲

- ・チーム医療において信頼関係を構築できる
- ・理学療法士の重要性(役割)を自覚できる
- ・臨床の場において疑問や好奇心を持つ

態度

- ・生命に対する深い畏敬の念と倫理観を有する

技能・表現

- ・自己の専門性を發揮し、実践できる能力を有する
- ・良好な人間関係を築くため患者、医療従事者とコミュニケーションをとることができる
- ・臨床の場において疑問点を解決するため、資源(文献検索、研究など)を活用することができる

四年次

マニュアルセラピー
理学療法技術論 II
理学療法技術論 I

理学療法管理学

理学療法研究セミナー

卒業研究 理学療法学特論

運動器障害理学療法学演習 I、II
中枢神経障害理学療法学演習 I、II
内部障害理学療法学演習 I、II

三年次

チーム連携論

運動器障害理学療法学
中枢神経障害理学療法学
内部障害理学療法学

装具と補装具療法

小児発達障害理学療法学

一年次

人体の構造と機能

病態運動学
機能解剖学
運動生理学
運動学演習
基礎運動学

障害別機能評価演習
理学療法評価学
理学療法評価学演習 II
理学療法評価学演習 I
理学療法評価学

義肢学と切断者の理学療法
理学療法研究方法論
基礎理学療法学
基礎理学療法学演習 II
基礎理学療法学演習 I
基礎理学療法学
理学療法概論

臨床検査と画像データ解析
精神医学
リハビリテーション障害学 I
リハビリテーション障害学 II
リハビリテーション障害学 III
小児の発達と障害 病態治療学 III
健康増進論 病態治療学 II
救急医学と蘇生法 病態治療学 I
臨床心理学 病態学 II
病態学 I

一年次

全学共通科目

教養セミナー
人間力セミナー
キャリア開発論 I
英語コミュニケーション I
英語コミュニケーション II
情報リテラシー I
情報リテラシー II

キャリア開発論 II
文学
歴史学
哲学
芸術学
国際文化論
心理学 など

専門基礎科目

解剖学
解剖学実習
生理学

人間発達学
薬理学
栄養生化学

医療概論

保健医療福祉と
地域リハビリテーション論

リハビリテーション概論

臨床実習 II
臨床実習セミナー II

臨床実習 I
臨床実習セミナー I

臨床体験実習

臨床見学実習

臨床で活躍できる理学療法士

卒業までに修得すべき要件

斜体: 選択科目

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士としての専門的知識、実践力を身に付けている ・国際化に対応した知識、視点を身に付けている | <ul style="list-style-type: none"> ・患者に必要な情報収集ができる ・状況に応じて適切に判断ができる | <ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療において信頼関係を構築できる ・理学療法士の重要性(役割)を自覚できる ・臨床の場において疑問や好奇心を持つ | <ul style="list-style-type: none"> ・生命に対する深い畏敬の念と倫理観を有する | <ul style="list-style-type: none"> ・自己の専門性を発揮し、実践できる能力を有する ・良好な人間関係を築くため患者、医療従事者とコミュニケーションをとることができる ・臨床の場において疑問点を解決するため、資源(文献検索、研究など)を活用することができる |

